

5月4回(5月21日～5月27日)商品検査実績

●微生物検査 282 検体

無店舗新規商品において、「日配1商品」が大腸菌において自主基準不適合となったことから、工程管理を見直して再検査を実施したところ、自主基準に適合する結果になりました。

●理化学検査 142 検体

食品添加物検査	12 検体実施しました。検査の結果問題ありませんでした。	
残留農薬検査	今週は実施しておりません。	
簡易農薬検査	22 検体実施しました。検査の結果問題ありませんでした。	
P C R 検査	畜種判別検査	今週は実施しておりません。
	GMO検査	今週は実施しておりません。
	米のDNA異種米判定	外部検査機関に4検体依頼しました。
	コシヒカリ品種判定	今週は実施しておりません。
米鮮度判定	4 検体実施しました。検査の結果問題ありませんでした。	
卵鮮度判定	80 検体実施しました。検査の結果問題ありませんでした。	
アレルゲン検査	今週は実施しておりません。	
ヒスタミン検査	5 検体実施しました。検査の結果問題ありませんでした。	
アフラトキシン(カビ毒)	今週は実施しておりません。	
クドア(養殖ヒラメ寄生虫)	市販品を2検体実施しました。検査の結果問題ありませんでした。	
放射性物質検査(スペクトロメータ※①)	13 検体(米4検体、鶏卵4検体、野菜3検体、果物1検体、水産1検体)実施しました。全て検出下限値(約20Bq/kg)以下となりました。	
放射性物質検査(サーベイメータ※②)	今週は実施しておりません。	

- ・ヒスタミン検査=ヒスタミンによる食中毒は、アレルギー様食中毒の一つであり、鮮度の低下したマグロやカツオ、サバなどの赤身魚やその加工品が原因となることが多いため、検査でヒスタミンの濃度を測定します。
- ・アフラトキシン=アスペルギルス属の一部のカビが産生するカビ毒で肝臓がんの原因の一つと考えられています。アフラトキシンが作られる最適条件は、温度30℃前後、湿度95%以上であるため、高温多湿の熱帯地方等が最も適しています。輸入食品の安全性に関わるため、日本では、輸入時に行う抜き取りのカビ毒検査やカビそのものが生育していないか外見上の検査を実施しています。なお、日本国内で、食品にアフラトキシン汚染が起きる可能性は低いものと考えられています。

※①NaI シンチレーションスペクトロメータ(遮蔽体付検査機器で核種を特定できるもの:ヨウ素 131、セシウム 134、セシウム 137 を測定)

※②NaI シンチレーションサーベイメータ(遮蔽体無ししきへいたいの持ち運びできる機器:ガンマ線総量を測定)

※③kcps(キロ・カウント・パー・セカンド):1秒間に対象となるものから何回放射性物質が放出されているか測定するものです。奈良県行政と同様にバックグラウンド(放射線測定の際の測定対象以外からの放射線で宇宙線や天然の放射性物質に起因する)との差異を3以内としました。



組合員さん VOICE

組合員さんの 想いにこたえて

みなさんから寄せられた声を商品・運用にいかす取り組みをしています。

CO・OP国産りんごジュース 100(混濁) 1ℓは、キャップがガチャッと閉まらないので、改善してほしい。

改善 しました

ご不便をお掛けし申し訳ございません。容器のキャップに関し複数のご意見をいただいていたことから、検討を重ねた結果、6月頃からスクリュウタイプのキャップに変更することになりました。

この商品は混濁果汁を使用したふくよかな味わいの国産りんごジュースです。この機会にぜひご利用をお願いいたします。今後ともお気づきの点やご意見をお寄せくださいますようお願いいたします。



旧商品

新商品

キャップの取り扱い方

①開封前は、いたずら防止リングがキャップについています。

②キャップを左に回すと、いたずら防止リングが下にはずれ、同時に内側のシールが切られて密封されます。切れたシールは内側に折れて残りますが、外からは見えない場合があります。



今月のお知らせ 品質保証部から



商品 プレゼント 初企画

ホームページに掲載中の「ならっぴ探検隊→商品の食べくらべ・おいしい食べ方」をご覧いただいている方、**5名様**に掲載中の商品数点をプレゼントします！

ハガキに住所・氏名・年齢・組合員番号をご記入の上、「商品の食べくらべ・おいしい食べ方」への感想や掲載して欲しい商品と理由を書いて

〒636-0302 奈良県磯城郡田原本町宮古 395-1
ならコープ品質保証部「ならっぴプレゼント係」までお送りください。
(6月30日締切)

※個人情報、当選商品の発送のみに使用します。また、お寄せいただきました感想は、ホームページ等で掲載する場合がございます。
※当選の発表は、商品の発送をもって代えさせていただきます。



商品検査レポート 4月に行った商品検査の結果をご案内します。

毎月の検査結果はHPにも記載しています。▶<http://www.naracoop.or.jp/goods/letter/kensadayori.html>

微生物検査	検査数 980	店舗新規商品において日記1商品が大腸菌群にて自主基準不適合となったことから工程管理を見直して再検査を実施したところ、自主基準に適合する結果となりました。								
理化学検査	検査数 369	主な検査項目	食品添加物 86	簡易農薬 50	畜種判定 6	残留農薬 (外部検査機関へ依頼) 5	精米品種判定 (外部検査機関へ依頼) 7	カビ毒 4		
放射性物質検査 (NaIシンチレーション スペクトロメータ※①)	検査数 54	米	野菜	果物	牛乳	鶏卵	水産	冷蔵日記	飲料	検査の結果、全て検出下限値 (20Bq/kg)以下でした。
		16	15	3	9	4	3	2	2	
放射性物質検査 (NaIシンチレーション サーベイメータ※②)	検査数 15	野菜	果物	きのこ	検査の結果、全てバックグラウンドとの差異が ※③3kcps(キロ・カウント・パー・セカンド) 以内となりました。					
		8	4	3						

※①NaI(エヌエーアイ)シンチレーションスペクトロメータ(遊離体(しゃへいたい)付検出器で核種を特定できるもの:ヨウ素131、セシウム134、セシウム137を測定)

※②NaIシンチレーションサーベイメータ(遊離体無しを持ち運びできる機器:ガンマ線総量を測定)

※③kcps(キロ・カウント・パー・セカンド):1秒間に対象となるものから何

回放射性物質が放出されているか測定するものです。奈良県行政と同様にバックグラウンド(放射線測定の際の測定対象以外からの放射線や宇宙線や天然の放射性物質に起因する)との差異を3以内としました。NaIシンチレーションサーベイメータではガンマ線総量を測定し、検出が疑われる場合は、NaIシンチレーションスペクトロメータで確認検査を行うこととしています。

